



おがわ

学校だより
第512号
2024年1月31日
町田市立小川小学校
校長 安部 貴史

ありのままを大切に力を尽くすこと～自然から学ぶ～

校長 安部 貴史

一月の終わりは、暖冬と言われながら寒波が近付き寒い日が続きましたが、夕方に暗くなるのも遅くなり、日が長くなってきました。着実に季節は、春に向かっていきます。一月は、保護者、地域の多くの皆様に、学校公開を御参観いただきました。日頃より本校の教育活動への御理解と御協力も含め、ありがとうございます。

三学期が始まり一か月が経ちました。「今年の目標に向かって何ができているだろうか。」と問いかけることもあるかと思いますが、日々、子供たちが前を向き、力を尽くして学習にも友達との関わりにも取り組んでいることが、子供たちが目標に向かっていく証です。子供たちの伸びる力はすばらしいと感じる時期でもあります。

さて、一月の初めに、南極観測隊の隊長を務めた国立極地研究所の副所長 伊村 智 先生の話をお聞きする機会がありました。伊村先生は、主にコケの研究をされている方で、南極でもコケの研究をされたそうです。植物やコケは、基本的に南極には生息することが難しいとのことですが、南極の水のたまったところには、コケがあるのだそうです。普通の植物が生息できない極地で、なぜコケが生きていけるのかは、不思議なことです。私たちが普段目にする植物は、その体の細胞一つ一つが細胞壁で守られており、その中に水分を蓄えることができます。そのため、ある程度の温度や水がある環境の中で、強く生きることができるのですが、南極では、気温も低く、水分は凍ってしまうために無いことと同様になり、根から水分を吸収し蓄えることができる植物は、水分を取り込むことができず、生きることがほとんどできなくなります。一方、コケは、細胞壁がないため、南極では少しでも水分があると、細胞に取り入れることができるので、生息ができる場合があります。

こうしたことを伊村先生は、「ありのまま環境に合わないときもあるけれど、合ったところで生きていくコケって人生に通じるところがある。」というお話がありました。一生懸命に生きていく中では、普通の環境では弱い部分にもなることが強みになるということが、心に残りました。

人も強みと弱みがあります。それは、表裏一体で同じ特性が弱みになることも強みになることもあります。自分のことを理解し、努力を続け、ありのままを受け止めることやそれを互いに認め合うことが大切なことだと思います。

二月は、展覧会や児童会が主体となった「委員会まつり」があります。集団の中で互いを尊重し、そして、今まで蓄えた力を発揮できるよう子供たちのありのままの姿を見つめて指導していきたいと考えています。今月も引き続き、保護者、地域の皆様には、教育活動への御理解と御協力をお願いします。

<学校運営協議会 1月20日(土)>

今年度の教育活動の評価及び次年度の教育課程の方針について確認しました。

今年度の教育活動については、保護者の皆様や児童の教育活動に対して概ね肯定的な評価をいただいていること、ICTの活用はすすんでいるが、書いて習熟を図ることもあることを説明させていただきました。

委員の皆様には、昨年度同様、児童の状況は、概ねよいが、人とのつながりを大切にさせるためにもあいさつ等も含め課題に対して取り組んでいく必要があること、評価していただきました。そして、次年度の学校経営方針について、説明しました。概略は以下のとおりです。

「保護者、地域と共に子供に向き合う教育活動」「主体的に学び、高め合う児童の育成」「人権尊重を基盤とし、互いを認め、尊重する態度の育成」「健康の保持増進に努め、安全に生活する態度の育成」を柱とした方針について承認をいただきました。この方針の下、次年度の教育計画を作成していきます。

皆様からの評価や次年度の方針等の詳細は、後日、学校だよりの臨時号で説明いたします。

<ふれあい月間>

2月は今年度最後の「ふれあい月間」です。物事の受け取り方は、個々に違います。みんなでの生活の中で意図せずに「これくらい…」と思うことが、人を傷付けてしまうこともあります。逆に、「こんなことが…」ということが人を嬉しくすることもあります。自他を見つめ、意識を高めること自体がいじめの防止にもつながります。御家庭においても、お子様の気持ちを見つめ、認め励ましていただけると幸いです。

<大谷選手のグローブ>

1月29日(月)の朝会で、大谷選手より贈られたグローブを紹介しました。この後、2月に6年生から学年ごとにグローブに触れたり、キャッチボールをしたりという機会を設定します。夢に向かって頑張れというメッセージを子供たちが受け取ることが大切と考えています。

2月の主な行事予定

2月の生活目標 寒さに負けずに元気にすごそう
すすんであいさつをしよう

2/2	金	体育館使用禁止 4時間授業給食あり	15	木	集会、小川っ子タイム（縦割り班活動）
5	月	全校朝会、展覧会作品搬入			展覧会片付け（5年） SC
6	火	安全指導日	19	月	放送朝会、委員会活動
7	水	避難訓練（Jアラート） おやこ文庫	21	水	短縮時程、委員会まつり準備（5、6年）
8	木	体育集会 SC	22	木	委員会まつり SC
9	金	展覧会1日目	23	金	天皇誕生日
10	土	展覧会2日目	26	月	全校朝会 クラブ活動（3年クラブ見学）
11	日	建国記念の日（祝日）	28	水	短縮4時間
12	月	振替休日	29	木	音楽朝会、小川っ子タイム（縦割り班活動）
13	火	振替休業日			SC
14	水	短縮4時間			

※SC=スクールカウンセラー

<展覧会> 2月9日（金） 2月10日（土）

体育館に全学年児童の作品を展示する久しぶりの展覧会です。保護者、地域の皆様の参観は、両日とも時間帯で区切っておりますので、詳細は、別途出してお知らせで御確認ください。なお、10日（土）は、児童の鑑賞する活動のため、変則的な5校時までの授業、12:45下校（給食なし）となりますので、御承知おきください。

<英語の指導>

1月27日を以て、5・6年生の英語の指導を担当していた講師が産休に入ることとなりました。2月以降の指導については、各学級の担任が担当します。御理解ください。

<2023年度の学校徴収金の実績報告>

教育活動のために使用させていただいているワークテストやドリル、校外学習のための費用等にかかった学校徴収金（私費会計）の実績を年度末の保護者会にてお知らせします。また、学校HPにも各学年の実績を掲載しますので、次年度の参考にいただければ幸いです。なお、年度によって使用する教材や校外学習については変更する場合がありますので、それにより費用が違ってくる場合があることは、御理解ください。

<感染症予防のために>

今年は、例年の流行期に関係なくインフルエンザの流行が続いています。また、新型コロナウイルスによる感染症も無くなってはいません。寒さと乾燥が二月も続きます。引き続き、うがい、手洗い、換気などの基本的な感染予防対策を続けてまいります。御家庭でも引き続き感染予防に御留意いただき、体調が優れないときには早めに休み、医師に受診するなど、無理のないようにしてください。